

10兆円を超える大軍拡 23年度予算案を閣議決定

戦後最悪の大軍拡予算に断固反対!

【小池晃書記局長が談話を発表】



岸田文雄政権は23日、2023年度政府予算案と「税制改正大綱」を閣議決定しました。岸田政権が掲げる軍事費2倍化を実現するために、社会保障など国民生活を支える予算を削減します。日本共産党の小池晃書記局長は23日、政府予算案について、次の談話を発表しました。(抜粋)

「専守防衛」をかなぐり捨てる「戦争国家づくり元年予算」

本日、岸田内閣が閣議決定した2023年度予算案は、「戦後の安全保障政策の大転換」を掲げて「専守防衛」を完全になぐり捨てることを宣言した「安保3文書」にもとづいて、5年間で43兆円という大軍拡を進める初年度予算であり、「戦争国家づくり元年予算」というべきものとなった。

憲法と平和、暮らしを破壊する戦後最悪の予算案

軍事費は、再来年度以降の軍事費に充てる「防衛力強化資金」(仮称)への繰入れを含めて前年度比4.8兆円増の10.2兆円に膨れ上がった。

歳出総額114兆円の9%、歳出増加額7兆円の7割が軍事費関係に充てられるという異常な軍拡予算となり、まさに、憲法と平和、暮らしを破壊する、戦後最悪の予算案にほかならない。



軍事費は9年連続で過去最大を更新

「軍事栄えて民減ぶ」血も涙もない悪政

軍拡のために、暮らしの予算は軒並み削減された。社会保障費は医療費の削減と負担増、雇用対策費の削減によって1500億円も圧縮され、年金給付は実質削減となった。中小企業予算、農業予算も連続の削減となった。軍事費の増ばかりが優先され、岸田首相が掲げた「子育て予算倍増」は、まったく看板倒れとなった。国立病院などの積立金や、コロナ対策資金の一部まで、「防衛力強化資金」の財源に充当された。

物価高騰が国民を苦しめている最中に、暮らしの予算を削って軍事費につぎ込むという、血も涙もない悪政である。しかも、数年後からは、復興特別所得税まで軍事費に流用し、国民に軍拡増税を押し付けることも予定されている。文字通り「軍事栄えて民減ぶ」予算にほかならない。

日本共産党は、2023年度予算案に断固反対し、平和と暮らしを守る予算への抜本的な組替えを求めて、たたかうものである。



記者会見の様

国民生活を犠牲にする「戦争国家づくり」を許さない

戦後最悪の予算案を閣議決定した
岸田政権を退陣に追い込む
世論と運動を大きく広げましょう!



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2022年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

10兆円を超える大軍拡 23年度予算案を閣議決定

戦後最悪の大軍拡予算に断固反対!

【小池晃書記局長が談話を発表】

岸田文雄政権は23日、2023年度政府予算案と「税制改正大綱」を閣議決定しました。岸田政権が掲げる軍事費2倍化を実現するために、社会保障など国民生活を支える予算を削減します。日本共産党の小池晃書記局長は23日、政府予算案について、次の談話を発表しました。(抜粋)



「専守防衛」をかなぐり捨てる「戦争国家づくり元年予算」

本日、岸田内閣が閣議決定した2023年度予算案は、「戦後の安全保障政策の大転換」を掲げて「専守防衛」を完全になぐり捨てることを宣言した「安保3文書」にもとづいて、5年間で43兆円という大軍拡を進める初年度予算であり、「戦争国家づくり元年予算」というべきものとなった。

憲法と平和、暮らしを破壊する戦後最悪の予算案

軍事費は、再来年度以降の軍事費に充てる「防衛力強化資金」(仮称)への繰入れを含めて前年度比4.8兆円増の10.2兆円に膨れ上がった。

歳出総額114兆円の9%、歳出増加額7兆円の7割が軍事費関係に充てられるという異常な軍拡予算となり、まさに、憲法と平和、暮らしを破壊する、戦後最悪の予算案にほかならない。



軍事費は9年連続で過去最大を更新

「軍事栄えて民減ぶ」血も涙もない悪政

軍拡のために、暮らしの予算は軒並み削減された。社会保障費は医療費の削減と負担増、雇用対策費の削減によって1500億円も圧縮され、年金給付は実質削減となった。中小企業予算、農業予算も連続の削減となった。軍事費の倍増ばかりが優先され、岸田首相が掲げた「子育て予算倍増」は、まったく看板倒れとなった。国立病院などの積立金や、コロナ対策資金の一部まで、「防衛力強化資金」の財源に充当された。

物価高騰が国民を苦しめている最中に、暮らしの予算を削って軍事費につぎ込むという、血も涙もない悪政である。しかも、数年後からは、復興特別所得税まで軍事費に流用し、国民に軍拡増税を押し付けることも予定されている。文字通り「軍事栄えて民減ぶ」予算にほかならない。

日本共産党は、2023年度予算案に断固反対し、平和と暮らしを守る予算への抜本的な組替えを求めて、たたかうものである。



記者会見の様

国民生活を犠牲にする「戦争国家づくり」を許さない

戦後最悪の予算案を閣議決定した

岸田政権を退陣に追い込む

世論と運動を大きく広げましょう!



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2022年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党